

7年産

「長葱」栽培基準

品 種 名	白羽一本太
目標粗原反収	10,730kg
目標製品反収	4,000kg
播 種 時 期	2月中旬～4月中旬
定 植 時 期	4月下旬～6月中旬
收 穫 時 期	9月中旬～10月中旬

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
基本作業			播種床準備	播 種																													
				育 苗																													
										定 植																							
																防除及び管理作業(培土)																	
																												収穫・撰果作業					

【施肥基準】

肥料名		施用量 (kg/10a)	要素量(kg/10a)		
			窒素	リン酸	加里
基肥	Dds509	80kg	12.0	16.0	7.2
追肥	S444	60kg	8.4	2.4	8.4
合計			20.4	18.4	15.6

※追肥は培土時に実施する。S444で1回の追肥量20kgとする。生育量に応じて追肥を実施し、窒素過多にならないように注意する

【栽培上の注意点】

- ① pHは6.0～6.5。リン酸が低いと収量・品質に影響が大きくなるので40mg/100gになるようにリン酸資材を施用し矯正する。
- ② 軟白部分を30cm以上を目標に3回程度、培土を実施する。
- ③ 葉枯病、さび病など葉枯性病害が発生しやすいので、発生初期に防除を実施する。

【 基幹防除ローテーション 】

散布時期	薬剤名
定植前	ジュリボフロアブル
定植後	ゴーゴーサン乳剤
定植30日後以降	ロロックス ※中耕培土後
定植40日後	リーフガード顆粒水和剤
定植50日後	ダイアジノン乳剤40
定植60日後	パレード20フロアブル ディアナSC
定植70日後	テーク水和剤 リーフガード顆粒水和剤
定植80日後	メジャーフロアブル グレーシア乳剤
収穫30日前	テーク水和剤 ディアナSC
収穫20日前	パレード20フロアブル ベネビアOD
収穫10日前	アミスター20フロアブル スピノエース顆粒水和剤

【農藥使用基準】

項目	適用病害虫名	農薬名	使用濃度 (倍)	10a当り薬量 (水100ℓ)	適正使用基準		RAC コード
					使用時期	回数	
殺虫剤	タネバエ・タマネギハエ	ジュリボフロアブル	200	トレイに0.5%散布	育苗期後半～ 定植当日	1	I:4A
	ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ						I:2B
	コガネムシ類幼虫	ダイアジノン粒剤5	－	全面又は作条6kg	は種又は定植時	2	I:1B
	アザミウマ類・ハモグリバエ類	グレースシア乳剤	2,000	50ml	7日	2	I:30
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	2,500	40g	3日	3	I:5
	アザミウマ類・ハモグリバエ類	ベネビアOD	2,000	50ml	前日	3	I:2B
		アグリメック	500	200ml	3日	3	I:6
	アザミウマ類・ネギハモグリバエ	ダイアジノン乳剤40	1,000	100ml	21日	2	I:1B
		ディアナSC	2,500	40ml	前日	2	I:5
		アクタラ顆粒水溶剤	1,000	100g	3日	3	I:4A
	ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ	リーフガード顆粒水和剤	1,500	66g	7日	2	I:14
殺菌剤	べと病・さび病・黒斑病	グリーンペンコゼブ水和剤	600	166g	14日	3	F:M3
	べと病・葉枯病	プロボーンズ顆粒水和剤	1,000	100g	14日	3	F:M5、F:4
	べと病	リドミルゴールドMZ	1,000	100g	14日	3	F:M3、F:1
	さび病・黒斑病	ストロビーフロアブル	2,000	50ml	7日	3	F:11
	葉枯病・さび病・黒斑病	アフエットフロアブル	2,000	50ml	前日	2	F:7
		パレード20フロアブル	2,000	50ml	前日	3	F:7
		アミスター20フロアブル	2,000	50ml	3日	4	F:11
	さび病・べと病・葉枯病・黒斑病	テーク水和剤	600	166g	14日	3	F:3、F:M
		メジャーフロアブル	2,000	50ml	前日	3	F:11

項目	適用雑草	農薬名	10a当り薬量	使用時期	回数	RACコード
除草剤	一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤	300ml	定植後(但し、定植10日後まで)	1	H:3
	一年生広葉雑草	ロロックス	150g	雑草茎葉散布又は全面散布 定植30日後以降 中耕培土後(但し、収穫30日前まで) ※農着剤は加用しないこと	1	H:5
	一年生雑草			畦間土壌散布 定植後(但し、収穫30日前まで)		
	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ナブ乳剤	200ml	雑草生育期イネ科雑草3～8葉期但し収穫30日前まで	1	H:1

【防除技術】

- ① グリーンベンコゼブ水和剤・テーク水和剤・リドミルゴールドMZは成分としてマンゼブを含む。マンゼブの総使用回数は3回以内。
- ② ジュリボフロアブルとアクタラ顆粒水溶剤は成分としてチアメトキサムを含む。チアメトキサムの総使用回数は4回以内。
(但し、定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
- ③ ダイアジノンを含む農薬(ダイアジノン粒剤5、ダイアジノン乳剤40)の総使用回数は2回以内。
- ④ 高温になるとネギアザミウマの発生が増加するため、**発生密度を高めないように防除を実施する**。特に小麦収穫時期に発生が多くなる傾向なので注意が必要。
- ⑤ **予防防除を主体とする**。特に曇天が続く場合は病害の発生が多くなるので圃場での発生状況を確認し防除に努める。